

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業			人権教育・啓発推進事業			担当課	担当係	人権政策係	管理番号	13131				
総合計画	大項目		6 みんなで創る協働のまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
	中項目		1 一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり			根拠法令 個別計画等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律							
	小項目		1 人権・個性が尊重される社会づくりの推進				深谷市人権施策推進指針							
	主要プロジェクト						深谷市性的指向及び性自認の多様性を理解し尊重する社会の推進に関する条例							
事業概要			人権に関する教育・啓発を行うために、人権教育専門員を置き、公民館、自治会、学校等における研修会の実施を促進・支援する。人権セミナーの開催や、人権教育啓発誌を作成し毎戸配布する。人権啓発品を作成しイベント等で配布する。性の多様性について周知・啓発するとともに、パートナーシップ宣誓制度の充実を図る。犯罪被害者等への理解を促進するとともに支援を行う。											
目的 ※何のために			人権、個性が尊重される社会づくりへの寄与。											
対象 ※誰・何を対象に			市民											
手段 ※どのように			ふかや・ふれあい人権セミナーの開催、人権研修会への講師派遣（小中学校・公民館・企業等）、人権教育啓発誌「すみよい深谷市をつくるために忠恕」の発行、人権啓発品の作成及び配布、性の多様性に関する周知・啓発、犯罪被害者等への理解促進のための啓発。											
成果 ※何を求めるか			人権尊重の大切さについての理解促進											
執行体制			☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☒ その他（ 深谷市人権会議 ）											
事務事業を構成する 予算事業			区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）		
			一般会計	10	教育費		5	社会教育費	6	人権教育推進費	人権教育・啓発推進事業		7,568,740	
本事業の 主な業務			・ 各種研修会へ人権教育専門員を講師として派遣							・				
			・ ふかや・ふれあい人権セミナーの開催							・				
			・ 「すみよい深谷市をつくるために忠恕」の作成							・				
			・ 人権啓発品の作成、配布							・				
			・ 性の多様性について周知啓発及びパートナーシップ宣誓事務							・				
			・ 犯罪被害者等について理解促進及び支援							・				

2. 事業費（投入コスト）

※令和7年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	6,350,000	6,359,000	7,074,000	8,520,000	8,528,000	
	決算額	5,873,848	5,881,033	6,156,574	7,568,740	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	85,000	80,000	0	300,000
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	5,873,848	5,796,033	6,076,574	7,568,740	8,228,000
人件費	従事職員数（人）	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	
	人件費相当試算※	6,689,124	6,808,641	6,988,905	7,205,530	7,487,216	
	総事業費試算	12,562,972	12,689,674	13,145,479	14,774,270	16,015,216	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	各種研修会の開催回数	目標値	回	125.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		99.00	121.00	139.00	137.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和4年度実績から／人権政策課で講師を派遣した他、各学校、公民館、幼稚園、保育園に照会して把握したもの、人権セミナー					
	実績値の算出式								
活動指標 2	講演会の開催	目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績値		1.00	1.00	1.00	1.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			ふかや・ふれあい人権セミナー/ふかや・ふれあい人権セミナー					
	実績値の算出式								
成果指標 1	各種研修会の延べ参加者数	目標値	人	7,900.00	8,500.00	8,500.00	8,500.00	8,500.00	8,500.00
		実績値		9,128.00	11,888.00	11,795.00	13,472.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和4年度実績から／人権政策課で講師を派遣した他、各学校、公民館、幼稚園、保育園に照会して把握したもの、人権セミナー					
	実績値の算出式								
成果指標 2	人権啓発関連事業参加者数実績	目標値	人	550.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00
		実績値		410.00	377.00	268.00	232.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			会場のアドニスの定員の半数/ふかやふれあい人権セミナー参加者（各種研修会の参加者数から再掲）					
	実績値の算出式								
成果指標 3	日常において、他者の人権を意識している市民の割合	目標値	%	69.00	65.00	65.00	65.00	65.00	65.00
		実績値		60.10	62.20	63.50	60.70		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市民まちづくりアンケート					
	実績値の算出式								
活動指標 3	パートナーシップ宣誓者が利用できる行政サービス数	目標値	件	15.00	17.00	17.00	19.00	19.00	21.00
		実績値		15.00	18.00	21.00	22.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和4年度の件数を基にしている／実数					
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	ふかや・ふれあい人権セミナーは、深谷市誕生20周年記念事業として深谷市の親善大使である高桑早生氏を講師に迎え開催することができた。公民館や保育園、幼稚園、小中学校での人権研修会の開催回数も目標値を達成できている。 パートナーシップ宣誓者が利用できるサービスについて、令和7年度末現在22件となり、毎年増加している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	ふかや・ふれあい人権セミナーの参加者数は目標値を達成できなかったが、各種研修会の延べ参加者数は、目標値を上回っている。 パートナーシップ宣誓件数は延べ7件で、導入時から目標値を達成できおり、また、宣誓者からは性的少数者への理解が進みありがたいという声があった。 まちづくりアンケートによる「日常において、他者の人権を意識して生活している市民の割合」は目標値を下回っている。
評価者			人権政策係長 田部井 理恵

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	ふかや・ふれあい人権セミナーの申し込みに電子申請を取り入れ、市役所の開庁時間以外でも申し込みができるようにすることで市民の利便性の向上を図ると共に、職員の電話受付の時間を削減することができた。
評価者			人権政策係長 田部井 理恵